



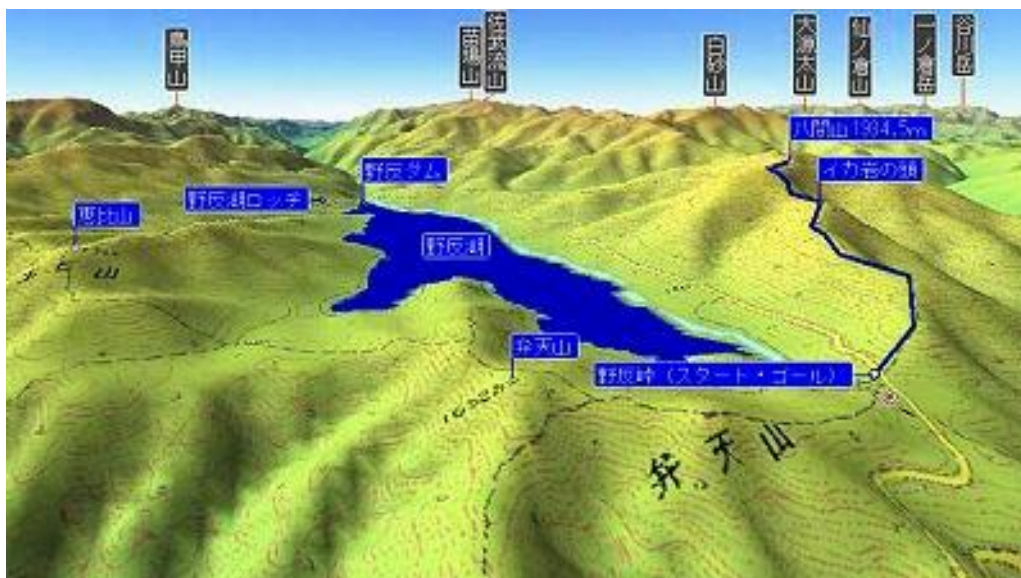
2024年6月1日(土)

八間山 (1935m)

Report By Kumamoto.

八間山(ハチケンザン:1935m)は群馬県北部、それも長野、新潟の県境に近くに野反湖(ノゾリコ:人口ダム)があり、その東側湖畔に位置しています。ご存じの方は少ないと思いますが、高山植物の宝庫として最近登山客が増えているとの事です。特に5月下旬~6月初旬にかけては約8万株のシラネアオイが咲き、7月にはノゾリキスゲが一面を黄色で覆い、ガレ場にはコマクサが咲きます。今回はシラネアオイを見に6月1日(土)に企画し、池戸さん、田上さんが参加し3名で行ってきました。

週の初めの天気予報では台風1号の影響もあってか、5月30日~6月2日にかけて雨模様で、29日(水)に山行中止の連絡をしましたが、翌日30日(木)の朝の天気予報で一転して、1日(土)のみ晴となり、急遽、山行再開の連絡し、決行することにしました。



計画した行程は、湖南端の野反峠休憩舎(1563m)を10:30スタートし、シラネアオイの群生を10:50に見て、イカ岩の頭(1828m)で昼食(12:00)を取り、13:05に八間山山頂(1935m)に到着し、下山は往路を折り返し、休憩舎に14:30に戻る。行程時間は余裕を持たせており、早く登山口に戻ることが出来れば、途中で日帰り温泉に寄る予定。



東京駅 6:28 発のはくたか 551 号
に乗車し、高崎に向う。

左: 田上さん

右: 池戸さん



高崎駅で7:26 発の吾妻線に乗換へ長野原草津口へ向かう。
車内はガラガラだった。



高崎を出て、新前橋付近では、
進行方向の左手に榛名富士（左
端）が、右手には赤城山（中央）
が見える



高崎を出て約1時間で郷原駅に
着く。駅から数回登ったこと
のある岩壁の「岩櫃山（803m）」
が直ぐ近くに見える。

8:49 終着駅 長野原草津口に到
着した。ここは草津温泉の玄関
口だ。



駅を出て「白砂川」に掛かる大橋を渡ると対岸にトヨタレンタカーがあり、
JR 駅レンタカーも代行しており、ここでレンタカーを調達する。9:10 野反湖に向けて出発。



9:45 に野反峠休憩舎に到着。
バスで80分かかるとの事で、レ
ンタカーで60分と見込んでいた
が、35分で到着した。9:45 着



登山開始前に野反湖を背景と登山口で記念の一枚



9:55 登山開始



登山口の「シラネアオイ群生地」看板が期待を抱かせる。



歩き始めると、いきなり「イワカガミ」の群生がお出迎えた。嬉しーね！！ ピンクの色が濃く鮮やかだ。



5分程、階段状の登山道を登ると・・・



「シラネアオイ群生地は左折」の表示(10:00)



5分程で樹林帯に入る。だが、シラネアオイの姿が見えない。



もう散ってしまったようだ。



何とか、咲いているシラネアオイを探し出した。



本来なら、左の写真のような満開の群生を期待したのだが？

写真は 2022 年の 5 月 30 日。ほぼ同時期なのに、今年は高温が続き、例年より 2 週間程、早く咲いたようである。

分岐まで戻り、再び上を目指す 10:15



分岐で振り返れば、草津白根山 (2171m) 山肌には幾筋もの残雪が見えていた。



登山道にはキジムシロ、レンゲツツジ、イワカガミ等の高山植物が延々と続き、目を楽しませてくれる



1045 イカ岩の肩に到着、更に先に進む。次第に急登が始まり背中に汗が流れる。



高度を上げるにつれてレンゲツツジが多くなり色も鮮やかさを増してきた。
前方にはこれから向かうイカ岩の頭、その右手に八間山が見える。先はまだ遠い。



更に高度を上げる（1800m 前後）と眼前にシャクナゲが現れた。「ラッキー」と思わず声があがる。



11:13

1828m の「イカ岩の頭」に到着。

ここで昼食の予定であったが、狭く展望もないので更に先に進んで
適当な場所を見つけることに
した。

軽く昼食を済ませて、八間山山頂を目指す。



山頂まで緩やかな尾根歩きの様に見えたが、実はアップダウンがあり、急登の連続であった。



山頂に近づくとオオカメノキが多くなり、新緑に白い花が綺麗だった。



12:10 八間山山頂（1935m）に到着。



山頂には二等三角点があり、更に浅間山が見られた。

12:25 下山開始、往路を戻る。



色の濃いシャクナゲ



山頂直下に、一か所だけショウジョバカマの群生





ムラサキヤシオツツジを見ながらの下り



午後になり更に色濃く花開いたレンゲツツジ

今回の行程では更に多くの高山植物に出会いました。



タンポポ



シロバナヘビイチ



ウラジオヨウラン



ヘビイチゴ



マイヅルソウ



ヒメイチゲ



フモトスミレ



コミヤカタバミ



ミツバオウレン



ツマトリソウ



コミヤカタバミ



13:35 無事、登山口に戻ってきました。

計画より約1時間近く早く戻ったため、日帰り温泉で入浴することにしました。

草津温泉「大滝の湯」に行くか、帰路の「道の駅 六合（クニ）」にある
応徳（オウドク）温泉「くつろぎの湯」に行くか迷いましたが、時間的に余裕を持たそうと、
「くつろぎの湯」に決めました。



くつろぎの湯は草津温泉への分岐を越えた 292 号線沿いにある道の駅「六合（クニ）」に隣接している。泉質はアルカリ性低張性高温泉で、半濁色の硫黄香を漂わせ、源泉かけ流し天然温泉です。(500 円)

我々3人で専有し、静かにのんびり汗を流すことができました。

素晴らしい温泉でした。

道の駅で「ワラビ（一束 200 円）」を二束ずつ仕入れて時間をつぶしても、まだ、15:30 で、予定の電車には早すぎて1時間ほどあり、草津温泉街を経由して駅に向かうことにしました。



駅近くに浅間酒造観光センターがあり、ここで冷え冷えの缶ビールを仕入れ、レンタカーを返却して駅に戻りました。



16:10 に長野原草津口に到着。早速、駅中の休憩スペースで良く冷えたビールで本日の打上



高崎で、新幹線はくたか 570 号に乗換へて、東京駅 19:12 に無事帰着し、解散しました。

初挑戦の八間山ではありましたが好天気に恵まれ、シラネアオイは残念ながらピークを遠に過ぎていましたが、何とか最後の花には出会えたのは幸いでした。これに代わって、イワカガミ、レンゲツツジ、シャクナゲ、オオカメノキの白い花を始めとして、色とりどりの多彩な高山植物に出会うことが出来ました。

行程は標高差約 350m ありますが、登山道はよく整備されて歩きやすく、快適な花旅でした。

時間に余裕を持たせれば高齢者でも十分楽しめる山です。

最後に訪れた応徳温泉「くつろぎの湯」は泉質も良く、静かでユッタリと過ごせ充分堪能できました。満開のニッコウキスゲ（ノゾリキスゲ）とコマクサが咲く 7 月頃も魅力あり、出来れば再度挑戦したい高山植物満載の山です。